

令和4年度 東京都立日野台高等学校 学校経営報告

令和4年度の取組と自己評価

本校生徒・保護者・都民からの期待に応え、進学指導推進校、英語教育研究推進校、海外学校間交流校、海外帰国生徒募集校として様々な教育活動に取り組み、生徒の挑戦心と実行力を育成した。

下記の通り、スクール・ミッション、スクール・ポリシーを制定した。

目指す学校像 (スクール・ミッション) 【期待される社会的役割等】	「叡知・情操・健康」を教育目標とし、文武両道を通じて、生徒自らが計画を立て、自らを律して最後まで粘り強く頑張り通す、挑戦心と実行力を育成します。	
スクール・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー 【高等学校学習指導要領で育成を目指す資質・能力】	教育活動において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力、表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す工夫した教育の充実に努める。
	カリキュラム・ポリシー 【教育課程の編成及び実施】	知力・徳力・体力のバランスの取れた教育の充実に努める。具体的には次の5つの資質・能力「①基礎・基本の定着 ②自律的な学び ③探究する態度 ④文武両道 ⑤規範意識」を育成し「挑戦する心と実行する態度を持つ生徒」に育てる。 これによって、より高い進路目標の実現に向け、学習と学校行事・部活動を、高い次元で両立できる文武両道を目指す。学習においては、自分の目標とする難関大学などを目指す。
	アドミッション・ポリシー 【本校の期待する生徒の姿】	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、教科の成績が優れている生徒 ・難関大学進学等の目的意識をもち、入学後もその実現に向け継続的に努力できる生徒 ・部活動、生徒会活動、奉仕活動等のいずれかに熱心に参加し、入学後も継続的な活動ができる生徒 ・社会生活を円滑に送るためのマナーを身に付けており、中学校3年間の出席状況が良好な生徒

※ガイドライン等に基づいて新型コロナウイルス感染症対策を取り、最大限可能な範囲の対面での教育活動を行った。

(1)教育活動の目標と方策

①学習指導

目 標	教育活動への取組と自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
・大学入学共通テスト、国公立大二次試験、難関私立大入試の得点力向上	・教科や進路指導部で、共通テスト、二次、難関大の入試問題を幅広く深く分析して教員間で共有し、授業で思考力・判断力・表現力を問う発問をし、定期考査で論理的思考力・表現力を高めるために記述・論述問題を出題した。	・共通テスト、二次、難関大入試問題を深く分析し教科会で共有する。 ・定期考査での記述問題を出題していく。
・学力スタンダードを活用した教科指導	・教科会で、授業進度を調整し、教材の共有化、定期考査の共通化を柔軟に進めた。 ・学校として一貫性のある授業計画をさらに進めた。	・学年ごとではない、学校として一貫性のある授業を実施する。
・学力向上と定着	・自宅学習定着のため、予習・復習、週末課題を課した。 ・予習を前提とした授業を行った。 ・教科、学年、部活顧問が連携し自宅学習等を促した。 ・自習室、図書室、廊下の学習コーナー等を活用して、学習習慣を身に付けさせた。感染症対策として、居残り学習は午後7時までとした。 ・夏期・秋期・冬期講習、普段の補習に取り組んだ。 ・共通テスト、国公立二次、難関私立大の出題傾向を踏まえ、新たな学習コンテンツ、教材を研究・活用した。	・共通テスト、国公立二次、難関私立大の出題傾向を踏まえ、進学希望実現に向けた取り組みを実践していく。委員会を中心に新たな学習コンテンツや教材をさらに研究し、研修会等で共有して活用する。

<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を推進 考える授業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での深い問いかけ、考えさせる発問等で、主体的・対話的な授業に取り組んだ。話し合い活動等は、感染症対策をとって可能な範囲で行った。 ・教員相互の授業参観(2月)を行い、まとめ資料で共有した。研究授業、授業公開を行った。 ・毎時間の授業のねらいを明確にし、生徒にとって見通しのある授業、考えさせる授業に取り組んだ。 ・総合的な探究の時間は、人間と社会の趣旨も踏まえ、SDGs等を軸に、日野市・青年会議所等とも連携し、成果をクラス、学年で発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での深い問いかけ、話し合い活動等で、主体的・対話的な授業に取り組む。 ・普段からの相互の授業参観にも取り組む。 ・総合的な探究の時間等の趣旨を共有し、将来の在り方、生き方につながる取組を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての授業でチャイム始業を徹底した。 ・土曜授業は年20回行い、学習、部活、行事を感染症の状況をみながら充実させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業は年20回行い、学習、部活、行事を充実させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した学校図書館教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦図書紹介、ブックカバーチャレンジ、図書館日より、SDGsに関する選書などに取り組んだ。計画的・継続的な読書活動をすすめた。未読率が下がり、生徒の読書量が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・継続的な読書活動をすすめる。 ・図書館専門員により読書活動を向上させる。

②進路指導

目 標	教育活動への取組と自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と学年が連携し、年間を通し学年ごと適時様々な説明会を開き、キャリア教育の充実を図った。 ・キャリア教育を通し、生き方、在り方等を考えさせた。 ・外部人材を、自習支援、取出、図書館居残り学習等で活用し、個々の生徒に応じた指導を実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を通し、生き方、在り方等を考えさせる。 ・外部人材を自学自習に活用する。
<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部が進路データを一元管理し、進路指導部と学年・各教科が連携した指導を行った。 ・進路実現のため、ケース会議、模擬試験分析会、進路行事等の充実を図り、進路指導情報を共有した。 ・面接指導(二者及び三者)の充実を図った。 ・保護者対象の進路学習会の充実を図った。 ・ケース会議、模擬試験分析会、進路行事等を通して、進路指導の情報を共有し、全教員で生徒の進路支援に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議、模擬試験分析会、進路行事等を通し、進路情報を共有し、全教員で生徒の進路支援の充実を進める。 ・学年・進路指導部を中心とした三者面談を充実する。
<ul style="list-style-type: none"> ・進路自己決定支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い目標をもたせ、最後まであきらめさせない進路指導を行う。進路通信「挑戦者たちへ」を発行し、学年集会、保護者会、学校説明会、オンデマンド動画配信等で、国公立大、難関大等を目指させた。 ・模擬試験の振り返りを学年集会等で行い、課題を全員で共有させ、進学に必要な力を身に付けさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の振り返りを学年集会等で行い、進学に必要な力を身に付けさせる。

③生活指導

目 標	教育活動への取組と自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣 確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶する、時間を守る、制服を正しく着用する等の基本的な生活習慣の指導を行った。 ・「日野台生活スタンダード」を定着させた。特に、「地域に愛される」取組を行い、地域や社会に貢献する意識を育んだ。 ・下校時間を守らせ、勉強・部活・学校行事の切り替えを日常的に指導した。 ・交通マナー、盗難防止の指導を行った。 ・スマホをオンライン学習、健康観察等に有効活用するよう指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装を正しく着用する等の指導に取り組む。 ・日野台生活スタンダードで提唱する「地域に愛される」取組を行い、地域や社会に貢献する意識を育む。 ・交通マナーの徹底に取り組む。

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健全育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会をとらえ、生命の尊重と自己肯定感を高めさせ、信頼できる人間関係をつくり、いじめや体罰の根絶に取り組んだ。学校生活や友人に関するアンケートを活用した。 ・「日野台生活スタンダード」で提唱する「思いやり」の心を育んだ。 ・総合的な探究の時間、人間と社会、様々な地域交流活動を通し、地域や社会と関わり、自己肯定感、キャリア意識を高めた。 ・セーフティ教室・人権尊重教育等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日野台生活スタンダード」で提唱する「思いやり」の心を育む。 ・総合的な探究の時間、人間と社会、様々な地域交流活動を通し、地域や社会と関わり、自己肯定感、キャリア意識を高める。
<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動を充実させ、ゴミの分別を日常的に行い、教室内や廊下などの美化に日常的に努めた。 ・感染症対策として、毎日教室等の消毒・チェックリストへの記入、教室に鼻紙等専用ゴミ箱を設置した。様々な感染症対策に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ガイドライン等に従い、感染症の緩和状況をみながら様々な対策を講じて、取り組む。

④広報活動

目 標	教育活動への取り組みと自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な学校PR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制で広報活動を展開した。 ・感染症対策をとり、学校説明会等の充実を図った。 8月オープンスクール 特別教室で6回実施 10月学校説明会 体育館で 2回実施 11月学校説明会 体育館で 2回実施 12月学校説明会 体育館で 1回実施 学校行事等紹介動画 説明会等で上映 授業公開 各学期に1週間実施 ガイドラインに従い感染症対策をとり、事前申込制等を取入れ、工夫し、可能な範囲で収容人数を増やし、各担当者が説明した。 ・学校案内の充実を図り、分かりやすく丁寧な説明を行った。 ・可能な範囲で進学塾での広報活動を行った。 ・ホームページを更新し、最新の学校情報の提供につとめた。ホームページリニューアルを行い、見やすいものにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色を、入学希望の中学生とその保護者や、都民に知っていただくため、感染症対策もとりつつ、可能な範囲で、リアルな学校説明会等を行う。 ・ホームページリニューアルにより、継続して内容を随時更新し、充実させ、一層の情報発信を行う。

⑤特別活動・部活動

目 標	教育活動への取り組みと自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・企画力や運営力を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭は5月に自由曲のみでJcomホールにて実施した。 ・常盤樹祭（文化祭・体育祭）は、9月に外部の方々を招いて実施できた。3学年沿った体育祭は実施できなかったが、3年生の体育祭を10月に実施した。 ・伝統行事の復活に向けた足掛かりができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の緩和状況を踏まえ、可能な範囲で、通常に近い形の行事運営を行う。感染症以前に本校で行ってきた伝統行事が引き継がれるよう取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率は92%であった。感染症対策で制限がある中、最大限活動が行えるようにした。大会等へも積極的に出場した。部活動で、地域、近隣学校との連携を図った。 【運動部】 ◎陸上競技：南関東大会予選出場・関東高校駅伝予選出場・他大会出場・校外競技場での日常練習 ◎水泳：都選手権出場 ◎サッカー：Tリーグ・新人戦7地区大会出場・インターハイ都予選出場・冬季合宿実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部・文化部共に、大会への参加を目指し、高いレベルでの文武両道の実現に向け、日常の活動を充実させる。

	<p>◎卓球男子：都大会(関東大会予選、都総体、新人大大会)出場</p> <p>◎卓球女子：都大会(関東大会予選、都総体、新人大大会)出場</p> <p>◎ハンドボール女子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場・ユリート杯優勝・東京都東西対抗選手1名選抜・夏期合宿実施</p> <p>◎ハンドボール男子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場・夏期合宿実施</p> <p>◎硬式野球：春季大会・夏季大会・秋季大会参加</p> <p>◎バレーボール女子：春季大会出場・小中高合同練習会主催・夏期合宿実施</p> <p>◎バドミントン男子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場</p> <p>◎バドミントン女子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場</p> <p>◎バスケットボール男子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場</p> <p>◎バスケットボール女子：春季大会・夏季大会・新人大大会出場</p> <p>◎硬式テニス女子：春季大会・夏季大会・新人戦出場</p> <p>◎硬式テニス男子：春季大会・夏季大会・新人戦出場</p> <p>【文化部】</p> <p>◎東京都総合文化祭2022へ参加</p> <p>◎演劇：都高校演劇コンクール多摩南地区大会参加</p> <p>◎写真：都高校文化祭中央大会入選</p> <p>◎美術：美術部都高校文化祭中央展出品</p> <p>◎吹奏楽 8月大会金賞・1月部門別大会金賞・3月定期演奏会実施</p> <p>◎コーラス NHKコンクール参加・3月定期演奏会実施</p>	
<p>・安全指導の実施</p>	<p>・様々な活動で、事故や怪我の防止や対応に取り組んだ。</p> <p>・新入生への交通安全について安全指導の徹底を図った。</p> <p>・部活動など様々な場面で、安全・安心な学校づくりに取り組んだ。</p>	<p>・登下校及び部活動など様々な場面で、安全・安心な学校づくりに取り組む。</p>

⑥ 環境・健康・安全

目 標	教育活動への取り組と自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
<p>・心と身体の健康づくり推進</p>	<p>・生徒の心身の状況を共有し、適切な指導に取り組み、生徒理解のための研修に取り組んだ。</p> <p>・スクールカウンセラーと連携し、教育相談の充実に取り組んだ。保健部を中心に相談日時を調整した。</p> <p>・感染症対策のため、毎朝、教員がサーモグラフィーを使っての体温測定に取り組んだ。</p> <p>・感染症対策のため、生徒の委員会が昼食に感染防止の啓発放送等、生徒会がスローガン等の作成・普及に取り組んだ。</p>	<p>・生徒情報を様々な方法で共有し指導に役立てる。</p> <p>・感染症対策のため、サーモグラフィーを使った体温測定や、生徒会でのスローガン、部活動、委員会での啓発活動等に取り組む</p>
<p>・省エネ推進</p>	<p>・節電、節水、CO₂削減など、環境保全や省エネルギーに努めた。窓を開けての冷暖房であり、光熱費が必要となった。省エネを意識した取り組みを行った。</p>	<p>・省エネを意識した取り組みを行う。</p>
<p>・ライフ・ワーク・バランスを推進</p>	<p>・学校における働き方改革推進プランに基づき、部活動指導員等を活用した。</p> <p>・学校専用携帯電話を、閉庁日、休日、夜間に使用することを保護者に周知し、活用した。</p>	<p>・休暇取得促進ウィーク、定時退庁ウィークを活用する。</p> <p>・学校緊急携帯電話、</p>

	・休暇取得促進ウィーク、定時退庁ウィーク等を啓発した。	オンライン保護者連絡網を活用する。
--	-----------------------------	-------------------

⑦経営企画室

目 標	教育活動への取り組みと自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
・積極的な学校経営参画	・修学旅行会計処理等で、学校経営支援センターとの連携を強化した。 ・特に実地の在庫管理、各分掌等による在庫把握により、予算の適正な執行・管理・編成に努めた。 ・一般需用費のセンター割合を高める取組をした。	・予算編成指針に基づき、在庫管理を徹底し、無駄を省き、真に必要な予算の編成・適正執行管理に努める。
・学習環境の維持	・施設設備の情報収集・点検・対応を行った。 ・教室換気のための冷暖房管理に留意した。 ・外部支援員等の活用を補佐した。	・施設設備の情報収集・点検・対応を行う。 ・教室換気のための冷暖房管理に留意する。 ・外部支援員等の活用を補佐していく。

⑧特色ある教育活動

目 標	教育活動への取り組みと自己評価 (数値目標等の達成度合い)	次年度以降の課題と 対応策
・新学習指導要領に応じた新教育課程の実施	・43期生からの新学習指導要領実施に向けた教育課程をスタートした。 ・教科会の充実に向け、カリキュラム・マネジメントの実践に取り組んだ。 ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーを実践した。	・観点別評価への対応については、今後も教科での対応が必要である。
・主権者教育の充実	・公民科や家庭科の授業、HRで主権者教育の充実を図り、講演会を実施した。 ・選挙管理委員会とも連携し、選挙関連の講演会・体験学習を実施した。	・選挙管理委員会とも連携して取り組む。
・海外学校間交流の推進	・海外短期交流、海外学校間交流を推進し、夏季休業中、希望者による海外研修旅行を実施した。 ・国際理解教育の充実に向け、TGGを活用した英語教育向上を実践した。	・夏季休業中に交流等を目的として、ガイドラインに基づき、海外研修旅行を現地にて行う。
・英語教育の推進	・英語力の向上のため、4技能（聞く、話す、読む、書く）の伸長を図った。 ・JET青年を活用した放課後部活動の充実に取り組んだ。 ・英語外部検定を英語力向上、大学受験での活用につなげた。	・英語科を中心とした英語外部検定受験の啓発、英語教育研究推進校として外部講師を招いた教員研修等を行う。
・学校2020レガシー教育の推進	・共生・共助社会の実現に必要な「ボランティアマインド」「豊かな国際感覚」の育成に向け、オリンピアを招待しての講演会を活用し、学校2020レガシー教育に取り組んだ。	・生徒の心を揺るがすような講師を招聘し、意識の醸成に取り組む。
・日本の伝統文化教育の充実	・日本の伝統文化の良さを理解し発信できる生徒、互いの文化を尊重した交流ができる生徒の育成を図った。 ・1年生で日本の伝統芸能鑑賞教室(雅楽)を行った。	・1学年で、日本の伝統芸能鑑賞教室に取り組む。
・アクティブラーニングの推進	・各教科において3つの学力を確実に伸長させ、主体的・対話的な学びの実現に取り組んだ。 ・深い対話があり、考えさせる授業を試みた。	・主体的・対話的な深い学びがあり、考えさせる授業の実践に取り組む
・地域等と連携した防災教育の推進	・町会、日野市防災安全課、日野市社会福祉協議会と連携し、避難所設営等共助の防災訓練に取り組んだ。 ・防災訓練と合わせ年計4回、火災・震災等を踏まえた避難訓練を行った。	・町会、日野市、社会福祉協議会、日野市立大坂上中学校等と連携し、避難所設営等共助の活動に取り組む。

<ul style="list-style-type: none"> 学校評価の一層の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価をより学校経営に反映させ、地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりの推進に努めた。学校評価アンケートを学校経営に生かした。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートを学校経営に生かす。
<ul style="list-style-type: none"> オンライン教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を活用し、課題設定力、仮説を立てる力、論理的に説明する力、明確な結論を導き表現する力を育成した。 適宜ICTを活用し、オンデマンド、ライブ配信を行い、授業、行事、部活動など様々な場面で活用する方法を研究し、実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> Teams、Classi、ロイロノート、スタディサプリ等の活用を推進し、校内研修等を継続する。

(2) 重点目標への取り組みと自己評価

重点目標	取り組みと自己評価	数値データ ※[]内は前年度
難関大学合格実績等	<p>大学入学共通テスト出願者300名以上、5教科7科目の受験者80名以上となるよう、生徒を励まし、最後まで諦めさせない指導を継続した。</p> <p>現役国公立大学合格60名以上(うち難関国公立大5名以上)、早慶上智理科大40名以上、GMARCH大220名以上の合格者数を目指した指導を行った。</p> <p>特に国公立大学の合格者が増加した。</p> <p>難関国立大は2名が合格した。早稲田大29名、慶応大4名、上智大19名、東京理科大11名であった。</p>	<p><u>進路実績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 共通テスト出願者数 307名 [304名] 国公立大学合格者数(大学校含む) 88名 [58名] 難関国公立大学合格者数 2名 [4名] 早慶上智理科大延合格者数 63名 [41名] GMARCH延合格者数 265名 [301名] 日東駒専延合格者数 218名 [194名] 進路決定率 94% [91%]
学校生活の充実度	<p>学校評価アンケートの全項目で肯定的回答が80%を越えるよう、分掌・学年・教科・部活動顧問が連携して学校生活の充実に取り組んだ。</p> <p>感染症対策をとり、可能な限りリアルな教育活動を推進し、かつオンラインも活用して登校不可の生徒に対して配信授業に取り組んだ。</p>	<p><u>学校評価アンケート結果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活は充実 89% [57%] 教員は授業改革に努めている 72% [49%] 入学してよかった 86% [58%] <p>※数値は全学年平均</p>
家庭学習の時間	<p>1、2年生で、家庭学習2時間以上の生徒が50%以上となるよう、課題の提示、隙間時間の有効活用、居残り学習等を促した。</p>	<p><u>家庭学習 平日2時間以上</u></p> <p>(7月) (11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年 平日 79% → 57% 休日 52% → 55% 2年 平日 57% → 48% 休日 74% → 69%
学校PR活動	<p>オープンスクール、学校説明会などを広報し、参加者数6000名以上、入学者選抜一次募集最終応募倍率1.5倍以上となるように努めた。</p> <p>感染症対策の動向を見つつ、効果的な学校PR活動を進めた。</p>	<p><u>学校広報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 塾対象説明会 適宜参加 8月オープンスクール720[936]名 10月学校説明会 450[728]名 11月学校説明会 450[720]名 12月学校説明会 250[112]名 都合同説明会等 350[354]名 学校見学会 随時実施 授業公開 各学期にて1週間実施 都立高校第1志望調査(中学校長会進路対策委員会) 1.78倍 [1.41倍] 推薦募集応募倍率 2.80倍 [2.45倍] 一次募集応募倍率 1.32倍 [1.39倍]

